

『御心に導かれる人生』 創世記32章24～31節 2018.1.28(主日礼拝説教より)

『主のはかりごととはとこしえに立ち、御心の計画は代々に至る。幸いなことよ。…神が、ご自身のものとしてお選びになった、その民は。主は天から目を注ぎ、人の子らを残らずご覧になる。』 詩篇33篇11～13節

①人間の「わがまま」の背後に、神の「選び」!…ヤコブは、双子の兄エサウとの祝福の大きな違いを悔しがり、策を練り、父も兄も騙して祝福を奪う。彼は、ずる賢い人間だが、『(神は)ヤコブを愛し、エサウを憎んだ(ローマ 9:13)』。誰が見ても身勝手なヤコブに神の選びがあり、その行動は神の計画の一部だと言う。日常の出来事を偶然と見るか、御計画の一部と見るかで人生観は全く変わる。★あなたは、思うようにならない事が不満?または今、持っているもの・起きていること全てを御心として最善を尽くす?それは選ぶことができる!

②神の選び(計画と導き)の本当の目的…ヤコブの生涯は5場面。①祝福を奪う。②夢を見る。③願望実現のための20年。④「ある人」と格闘。⑤死の直前の12人の子たちへの預言。①エサウは「祝福を奪われた」と言うが、実際は自分が祝福を軽視した(創世記 25:32)。一方ヤコブは、徹底して神の祝福に固執!★あなたはヤコブほどに神の祝福を必要と感じているだろうか?結果、逃亡生活となるも、そこでもまた神の圧倒的な恵みを知る!②将来への不安、荒野の一人旅での闇夜、彼は夢を見て、傍らに立つ主、その守り、帰路と臨在を約束される(創世記 28:13～15)。彼はそこで神を拝して祈る(創世記 28:20～21)。★あなたは人生の荒野に、この確信があるだろうか?③ラケルとの結婚のための7年間は「数日のよう…」叔父ラバンに騙され、更に7年と労苦の6年…計20年!しかしヤコブは、『神は私の悩みとこの手の苦労とを顧みられ(創世記 31:42)』と告白し、共におられる神を疑わなかった!神の祝福を信じて委ねても、苦労や努力はある。しかしその中で神の祝福は実を結ぶ!ヤコブは莫大な財産と、12人の子を連れて故郷へ!④400人を引き連れて迎えに来る兄エサウを前に、恐怖で眠れぬ夜、彼は、「ある人」と格闘!「この人」は、ヤコブに、再度、神の祝福の必要を確認させる。ヤコブは、腰を砕かれ肉体的にも謙らされ、「ヤコブ(押しのける者)」から「イスラエル(神が支配する者)」に変えられ、兄と笑顔の再会!これが選びの目的(詩篇 33:11～13)。

★あなたを祝福したい神に、「私を大いに祝福してください」と求め、天の御旨を地に実現していただく!